



# 健康百話

～今回はさいとう脳神経外科の齋藤先生にお話を伺いました。～

## 講師紹介

さいとう脳神経外科  
院長(医学博士)  
**齋藤正裕**先生  
(さいとう まさひろ)



### プロフィール

1993年 愛媛大学医学部医学科卒業  
1993年 愛媛大学医学部附属病院脳神経外科  
1994年 和昌会貞本病院脳神経外科  
2004年 聖光会鷹の子病院脳神経外科  
2005年 愛媛県立新居浜病院脳神経外科  
2015年 さいとう脳神経外科開院  
資格:日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医  
所属学会:日本脳神経外科学会、  
日本脳神経外科コンgres、  
日本脳卒中学会、日本脳ドック学会



電話: 0897-47-7800  
住所: 〒792-0822  
愛媛県新居浜市寿町11番41号

診療科目: 脳神経外科  
診療時間: 午前: 9:00 ~ 12:30  
午後: 14:30 ~ 18:00

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00 ~ 12:30)	○	○	○	○ 13:00まで	○	○ 13:00まで
午後 (14:30 ~ 18:00)	○	○	○	×	○	×

休診日: 日曜・祝日  
ホームページ: <http://www.saito-nougeka.com>

## 健康情報! 脳神経外科とは?

脳神経外科では、脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など)、脳腫瘍、頭部外傷、パーキンソン病、認知症、頭痛、てんかんなどの脳・神経・脊髄の疾患を診断し治療を行います。

これらの疾患の中でも、脳卒中は日本人の死因第4位(平成25年人口動統計(確定数)の概況、厚生労働省による)であり、治療を受ける方も非常に多い疾患です。脳卒中は、必ずしも四肢の麻痺や言語障害などの明らかな神経症状で発症せず、頭痛、めまい、しびれ、気分不良などの軽い症状で発症する場合があります。また、自覚症状がなくてMRI検査で脳梗塞や頭部・頸部の動脈が細くなっているのが発見される方がいらっしゃいます。これらにあてはまる方は、将来脳梗塞を発症する可能性が高いと言われています。脳の異常を早期に診断し治療を行うことで、症状を軽くすることや発症を予防することが可能となります。また、超高齢化社会を迎えている日本において、認知症の患者数は現在460万人(2012年厚生労働省研究班(代表研究者、朝田隆筑波大教授)による)を超えており、今後さらに患者数の増加が予測されています。認知症の中で最も多いアルツハイマー型認知症は、現在完治することは難しく進行を遅らせる治療が行われています。最近、MRI検査で脳の記憶に関わる部位の萎縮の程度を測定することによって、早期アルツハイマー型認知症の診断が可能となる場合があります。早期診断、早期治療によって、進行を遅らせる可能性が高くなります。また、MRI検査で認知症の原因疾患を診断することができます。

脳・神経・脊髄の疾患では、様々な症状がみられます。気になる症状がありましたらお気軽にご相談下さい。